

2011年3月11日 東日本大震災 障害者の状況と支援者の活動を描く劇映画

「星に語りて～Starry Sky～」映画上映会

どなたでも無料でご鑑賞いただけます。

きょうされん40周年記念映画

松本 動 監督作品

星に語りて
Starry Sky

2011年3月11日 東日本大震災、
障害のある人と支援者の物語。

2023年10月21日(土)

9:30 開場 10:00 開演

会場：不二羽島文化センター

みのぎくホール

入場無料

主催：羽島市手をつなぐ親の会

後援：羽島市・羽島市教育委員会・羽島市社会福祉協議会

※羽島市特別支援教育助成会の助成を受けています

2011年3月11日

障害者の状況と支援者の活動を描く 劇映画

《あらすじ》

舞台の一つは、岩手県陸前高田市。高台にある共同作業所「あおぎり」では、津波の直接的な被害は免れたものの、仲間の一人を失って落胆する利用者たちを女性の所長が励ましなが、一日も早く障害のある人が日常を取り戻せるように一歩を踏み出そうとしていた。また、全国障害者ネットワークでは、東京、秋田、岩手、福岡など全国のグループが連携して支援活動を始めようとしていた。そんな矢先、「障害者が消えた」という情報が入ってきた。多くの避難所をまわっても、障害のある人の姿がほとんど見当たらないというのだ。

一方、福島第一原子力発電所事故によって避難を余儀なくされた地域の一つ、南相馬市では、避難できずに取り残されている障害のある人の存在を知った共同作業所「クロスロードハウス」の代表らが、自らの手で調査に踏み切ろうとしていた。被災地各地に支援センターが設置され、次々と支援物資が送られ、全国各地から支援員が集まってきた。しかし、各地の障害のある人の安否確認を進める中で、彼らに立ちはだかる障壁があった。それは、個人情報保護法によって開示されない、障害のある人の情報だった。法律によって守られる人権と、一刻を争う人命救助との狭間で苦しむ支援者たち。

全国障害者ネットワークでは、この障壁を打ち破る手立てを模索していった。

脚本 山本おさむ(長崎県出身の漫画家)

監督 松本勲

出演 要田禎子 蛭雪次朗 今谷フトシ 生島ヒロシ 赤塚真人 当事者多数

制作プロダクション ターゲット

制作 きょうされん

〈2019年 115分〉

《私たちの思い》

昨今、日本各地で起こる大規模な自然災害を目の当たりにしています。また東日本大震災 3.11 も近いこの時期に、この映画を上映することで被災した時の事を、地域として真剣に考える機会になって欲しいと思い企画しました。

この映画を一人でも多くの方に観てもらい、その真実を知っていただきたい。そして、自分なりの絵を描き、災害について、障害のある人について、人間や社会について地域に発信していただければ幸いです。